

連続講座

移住者の権利キャンペーン2020

「ここにいる koko ni iru.」企画

移民二世からの研究発信

外国から出稼ぎ労働者が来日するようになって30年が経過し、日本で育った子ども世代のなかから、「移民研究者」が誕生しています。「移民」を、みずから経験してきた研究者たちは、自分たちを対象としてきた先行研究をどのように読み、研究者としてみずからはどのようにアプローチしていくのでしょうか。

第4回目は、カトリック教会における宗教実践について、ペルー出身のカルロス・オチャンテさんとロサ・オチャンテさんの報告と谷富夫さんのコメントです。関西初開催となりますので、お近くの方はぜひご参加ください。



報告者: **カルロス・オチャンテ** (奈良学園大学非常勤講師)

ロサ・オチャンテ (奈良学園大学助教)

「カトリック教会における多言語・多文化環境の実態:三重県伊賀市の事例」

コメンテーター: **谷富夫** (甲南大学)

2018. **4.21**. (Sat.) **15:00~17:00**

上智大学大阪サテライトキャンパス教室2
(大阪市北区豊崎3-12-8 カトリック梅田教会2階)

申し込み不要・無料

移住者の権利キャンペーン2020
「ここにいる koko ni iru.」とは

移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連)は、移住者と多様なルーツをもつ人々の権利と尊厳が保障される社会、制度、政策をめざして、多くの人が参加し、意見を出し合う場をつくる、移住者の権利キャンペーン2020「ここにいる koko ni iru.」をスタートしました。

タウンミーティングなどを通し、移住者あるいは外国にルーツを持つ方々が「ここにいる」ことを社会に広めるとともに、2020年に向けた政策提言を発表します。

主催: 上智大学グローバルコンサーン研究所

共催: NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク貧困対策プロジェクト

問い合わせ先: Tel: 070-6519-1391 E-mail: inabanako@gmail.com (稲葉)